

【一】

問一 漢字検定五級程度の漢字について、よく学習しておくこと。

問二 言葉の意味の問題。「直感的」とは、勘などの働きによって、瞬間的に感じとること。文脈から判断できる。

問三 傍線部①の前に注目する。テレビを見たリ、ピアノの練習をしたりすること以外に、やりたくもない水やりという作業が増えることに対して、アケミは面倒くさいと感じている。

問四 「ない」の識別の問題。

「にこりもしない」「走らない」……動作や作用を打つ消す働きをする。(助動詞)

「図書館がない」……存在するかしないかをあらわす。(形容詞)

「大学生ではない」……すぐ上の言葉を補助する。(補助形容詞)

「おさない」……「おさない」(形容詞)という単語の一部。

問五 ことわざや慣用句などは、系統立てて覚えておくと良い。

問六 修飾被修飾の問題。

問七 アケミがシゲコちゃんの家を訪ねてからの場面に注目する。

ウ……「仲の良い友人であるシゲコちゃんに責められているように感じ」が誤り。そのような記述はない。

オ……「一生懸命ジャガイモの世話をしているのに」が誤り。アケミは全く鉢の世話をしていない。

問八 アケミがシゲコちゃんのジャガイモの鉢を見せてもらってからのやりとりに注目する。

「ちゃんと水をやってる」「鉢も鉢を載せているお皿も、全然土で汚れていないなかった」「早く芽が出るって話かける」等の箇所から解答を導く。

問九 ア……アケミは鉢の世話をしていないことを自覚しているので誤り。

ウ……前後を読んでもそのような記述はない。

エ……植木鉢を持って帰った日にアケミが自分で庭に置いているので誤り。

問十一 傍線部⑧の直前の内容をまとめると良い。

問十二 表現技法の問題。

直喩……「くように・くみたいに」などを用いて、直接明らかに示して例える方法。

隠喩……比喩であることを直接示さず、たとえるものと直接に結び付ける方法。

擬人法……人間以外のものを人間にたとえる方法。

体言止め……終わりに名詞を置き、強めたり、余韻を残したりする表現技法。

倒置法……印象や意味を強めるため、主語・述語・修飾語などの順を変えること。

問十三 指示語がある時は直前の内容に注目する。

問十四 アケミが家を出る直前の、母とのやりとりからも、母が怒っていることが読み取れる。

問十六 今まで、そつなく何でもこなしてきたアケミだったが、初めて「自分だけ出来ない」という状況に陥り、そのことに対していらだちを覚えている。

問十七 ア……「最初はやる気で熱心に世話していたアケミも」が誤り。アケミは全く鉢の世話をしていない。

イ……「鼻にかける」とは、「得意がる、自慢する」という意味。それが原因でアケミが嫌われていたという記述はない。

ウ……「汚れた植木鉢を庭から机まで運び宿題を手伝おうとした」が誤り。母は手伝うつもりはなく、むしろ怒っている。

【二】

問一 漢字の部首の問題。プレテストでも同様の出題があった。

問二 故事成語の問題。故事成語とは、中国の古典に由来する言葉で、さまざまな出来事や、伝説、たとえ話など、「故事」を背景に持つ語である。背景にあるエピソードと合わせて覚えると良い。

問三 同音異義語の問題。漢字が持つ意味もふまえて考えると良い。

対照……二つの物事を照らし合わせて違いを比べるときに使う。

努めている……事を成し遂げるために力を尽くすという意味で使う。

立つ……建物に関しては「建つ」を使う。